

官報

號外 昭和十四年三月十日

○第七十四回帝國議會貴族院議事速記錄第二十號

昭和十四年三月九日(木曜日)午前十時十一分開議

議事日程 第二十號

昭和十四年三月九日

午前十時開議

第一 鑛業法中改正法律案(政府提出)

衆議院送付) 第一讀會

第二 北海道拓殖銀行法中改正法律案

(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第三 金資金特別會計法中改正法律案

(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第四 國境取締法案(政府提出、衆議院

送付) 第一讀會

第五 軍用資源秘密保護法案(政府提

出、衆議院送付) 第一讀會

第六 地方鐵道法中改正法律案(政府

提出、衆議院送付) 第一讀會

第七 軌道法中改正法律案(政府提出、

衆議院送付) 第一讀會

第八 朝鮮事業公債法中改正法律案

(政府提出、衆議院送付) 第一讀會

第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 朝鮮私設鐵道補助法中改正法律

案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北

安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關ス

ル法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十一 昭和十二年法律第五十七號中

改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十二 大正十四年法律第五十一號中

改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十三 裁判所構成法中改正法律案

(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四 街路照明統制ニ關スル請願

會 議

第十五 北海道上磯郡木古内村ニ漁港

築設ノ請願 會 議

第十六 北海道上磯郡上磯町ニ船入潤

築設ノ請願 會 議

第十七 室蘭本線豐浦、定山溪鐵道定

山溪ノ兩驛間鐵道敷設ノ請願 會 議

第十八 北海道網走郡網走町北六條ニ

無集配三等郵便局設置ノ請願 會 議

第十九 北海道網走、羅臼港間ニ命令

補助航路開設ノ請願 會 議

第二十 北千島、網走港間ニ命令補助

航路開設ノ請願 會 議

第二十一 北海道網走區裁制所廳舍並

官舎改築ノ請願 會 議

第二十二 豫定線松山附近、佐川間鐵

道速成ノ請願 會 議

第二十三 幌內線幾春別、根室本線新

得ノ兩驛間鐵道敷設ノ請願 會 議

第二十四 北海道市來知郵便局ニ集配

事務開始ノ請願 會 議

第二十五 釜石線鐵道速成ノ請願

會 議

○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマ

ス (丸龜書記官朗讀)

一昨七日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提
出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議

院ニ通知セリ

昭和十四年度歳入歳出總豫算案並昭和十

四年度各特別會計歳入歳出豫算案

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

ヲ要スル件

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

朝鮮事業公債法中改正法律案可決報告書

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案可決報

告書

朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵

道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案可決

報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

鑛業法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中改正法律案

金資金特別會計法中改正法律案

國境取締法案

軍用資源秘密保護法案

地方鐵道法中改正法律案

軌道法中改正法律案

昨八日軍馬資源保護法案特別委員會ニ於テ

當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵溝口 直亮君

副委員長 男爵千田 嘉平君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表(第七回報告)

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通第六十四回

帝國議會政府委員仰付ラレタル旨ノ通牒

ヲ受領セリ

大藏省所管事務政府委員

大藏書記官 迫水 久常君

○議長(伯爵松平賴壽君) 昨八日、内親王

殿下御命名ノ儀ヲ行ハレマシタニ付、議

官報號外

昭和十四年三月十日 貴族院議事速記錄第二十號 議長ノ報告

一三七

明治三十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

長ハ去ル四日ノ決議ニ基キ、議院ヲ代表致シマシテ參内シ、宮内大臣ヲ經マシテ、天皇皇后兩陛下ニ御祝詞ヲ言上致シマシタ、又大宮御所ニ參入シ、皇太后宮大夫ヲ經マシテ、皇太后陛下ニ御祝詞ヲ言上致シマシタ

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、鑛業法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、八田商工大臣

(左ノ送付文及法律案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ)

鑛業法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和十四年三月七日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

鑛業法中改正法律案

鑛業法中左ノ通改正ス

第十四條中「第八章」ヲ「第九章」ニ改ム
第四十一條中「第七十二條」ノ下ニ「若ハ第七十四條ノ四第三項」ヲ加フ
第五章ヲ第六章トシ以下順次繰下ガ第四章ノ次ニ左ノ一章ヲ加フ

第五章 鑛害ノ賠償

第七十四條ノ二 鑛物掘採ノ爲ノ土地ノ

掘鑿、坑水廢水ノ放流、捨石鑛滓ノ堆積又ハ鑛煙ノ排出ニ因リテ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキハ損害發生ノ時ニ於ケル當該鑛區ノ鑛業權者、損害發生ノ時鑛業權消滅セル場合ニ於テハ鑛業權消滅ノ時ニ於ケル當該鑛區ノ鑛業權者其ノ損害ヲ賠償スル責ニ任ス

前項ノ場合ニ於テ損害カ二以上ノ鑛區ノ鑛業權者ノ作業ニ因リテ生シタルトキハ各鑛業權者ハ連帶シテ損害ヲ賠償スル義務ヲ負フ損害カ二以上ノ鑛區ノ鑛業權者ノ作業ノ中孰レニ因リテ生シタルカヲ知ルコト能ハサルトキ亦同シ
前二項ノ場合ニ於テ損害發生ノ後鑛業權者其ノ鑛業權ヲ讓渡シタルトキハ損害發生ノ時ノ鑛業權者及其ノ後ノ鑛業權者ハ連帶シテ損害ヲ賠償スル義務ヲ負フ

前三項ノ賠償ニ付テハ共同鑛業權者ノ義務ハ連帶トス

第七十四條ノ三 前條第二項ノ連帶債務者相互ノ間ニ於テハ其ノ各自ノ負擔部分ハ相均シキモノト推定ス
前條第三項ノ場合ニ於テ鑛業權ヲ讓受ケタル者賠償ノ義務ヲ履行シタルトキハ損害發生ノ時ノ鑛業權者ニ對シ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十四條ノ四 石炭ヲ目的トスル鑛業

權者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ石炭掘採ノ爲ノ土地ノ掘鑿ニ因リテ生スヘキ損害ノ賠償ヲ擔保スル爲其ノ掘採シタル石炭ノ數量ニ應ジ毎年一定額ノ金錢ヲ供託スヘシ但シ金錢ニ代ヘ其ノ金額ニ相當スル國債ヲ供託スルコトヲ妨ケス
前項ノ規定ハ國ノ鑛業ニ之ヲ適用セス
石炭ヲ目的トスル鑛業權者第一項ノ供託ヲ怠リタルトキハ主務大臣ハ鑛業ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第七十四條ノ五 石炭掘採ノ爲ノ土地ノ掘鑿ニ因リテ損害ヲ被リタル者ハ其ノ損害賠償請求權ニ關シ前條第一項ノ供託物ニ付他ノ債權者ニ先チ辨濟ヲ受ケルノ權利ヲ有ス
前項ノ權利ノ實行ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十四條ノ六 石炭ヲ目的トスル鑛業權者其ノ鑛業權ヲ讓渡シタルトキハ第七十四條ノ四第一項ノ供託物ニ對スル權利ハ讓受人ニ移轉ス

第七十四條ノ七 石炭ヲ目的トスル鑛業權者又ハ鑛業權者タリシ者ハ左ノ場合ニ限り命令ノ定ムル所ニ依リ第七十四條ノ四第一項ノ供託物ヲ取戻スコトヲ得

一 石炭掘採ノ爲ノ土地ノ掘鑿ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償シタルトキ

二 鑛業權消滅後十箇年ヲ經ルモ石炭掘採ノ爲ノ土地ノ掘鑿ニ因ル損害ノ生セサルトキ

第七十四條ノ八 損害ノ賠償ハ金錢ヲ以テ之ヲ爲ス但シ賠償金額ニ比シ著シク多額ノ費用ヲ要セスシテ原狀ノ回復ヲ爲スコトヲ得ルトキハ被害者ハ原狀ノ回復ヲ請求スルコトヲ得

賠償義務者ノ申立アリタル場合ニ於テ裁判所適當ト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス金錢ノ賠償ニ代ヘ原狀ノ回復ヲ命スルコトヲ得

第七十四條ノ九 損害ノ發生ニ關シ被害者ニ責ムヘキ事由アリタルトキハ裁判所ハ損害賠償ノ責任及範圍ヲ定ムルニ付之ヲ斟酌スルコトヲ得損害ノ發生ニ關シ天災其ノ他ノ不可抗力ノ競合シタルトキ亦同シ

第七十四條ノ十 損害賠償ノ額カ豫定セラレタル場合ニ於テ其ノ額カ著シク不當ナルトキハ當事者ハ之カ増減ヲ請求スルコトヲ得

第七十四條ノ十一 損害賠償請求權ハ被害者カ損害及賠償義務者ヲ知リタル時ヨリ三箇年間之ヲ行ハサルトキハ時効ニ因リテ消滅ス損害發生ノ時ヨリ二十箇年ヲ經過シタルトキ亦同シ
前項ノ期間ハ進行中ノ損害ニ付テハ其

ノ進行ノ止ミタル時ヨリ之ヲ起算ス
第七十四條ノ十二 鑛害ノ賠償ニ關シ爭議ノ生シタルトキハ當事者ハ損害ノ發生地ヲ管轄スル地方裁判所又ハ當事者ノ合意ニ依リテ定ムル地方裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

小作調停法第二條、第六條、第十條、第十二條乃至第十五條、第二十一條、第二十二條、第二十四條乃至第二十八條、第二十九條第一項、第三十條乃至第三十五條、第三十七條乃至第四十條及第四十八條、借地借家調停法第四條ノ二、第十條、第十八條及第二十九條乃至第三十一條、金錢債務臨時調停法第六條第一項第四項、商事調停法第一條第二項第三項、第四條及第五條並人事調停法第六條及第十條ノ規定ハ前項ノ調停ニ之ヲ準用ス

第七十四條ノ十三 調停委員ハ特別ノ知識經驗ヲ有シ公正ナル調停ヲ爲スニ適スル者ニ就キ毎年豫メ地方裁判所長ノ選任シタル者又ハ當事者ノ合意ニ依リ選定セラレタル者ノ中ヨリ各事件ニ付調停主任之ヲ指定ス

第七十四條ノ十四 裁判所又ハ調停委員會必要アリト認ムルトキハ關係官廳其ノ他適當ト認ムル者ニ對シ意見ヲ求メ又ハ調査ヲ囑託スルコトヲ得

關係官廳ハ裁判所又ハ調停委員會ニ對シ意見ヲ述フルコトヲ得

第七十四條ノ十五 本章ノ規定ハ鑛業ニ從事スル者ノ業務上ノ負傷、疾病及死亡ニ關シテハ之ヲ適用セス

第九十六條 第十條第三項若ハ第十一條ノ規定ニ違背シタル者又ハ第七十二條、第七十四條第一項若ハ第七十四條ノ四第三項ノ命令ニ從ハサル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第五章ノ改正規定ハ第七十四條ノ四乃至第七十四條ノ七ノ規定ヲ除クノ外本法施行前ニ爲シタル作業ニ因リテ本法施行後ニ生ジタル損害ニモ之ヲ適用ス

本法施行前ニ生ジタル損害ニシテ補償金、手當金、見舞金其ノ他何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ被害者ガ其ノ賠償ヲ受ケズ又ハ賠償ヲ受ケタルモ其ノ額ガ著シク少額ナリシモノニ付テハ被害者ハ賠償又ハ其ノ増額ヲ請求スルコトヲ得

第七十四條ノ二第一項、第二項及第四項、第七十四條ノ三第一項、第七十四條ノ八、第七十四條ノ九並ニ第七十四條ノ十一乃至第七十四條ノ十五ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用ス但シ第七十四條ノ十一第一項ノ三箇年ノ期間ハ被害者ガ本法

施行前ニ損害及賠償義務者ヲ知リタルトキハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

〔國務大臣八田嘉明君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(八田嘉明君) 只今議題トナリマシタ鑛業法中改正法律案ニ付テ提案理由ヲ御説明申上ゲマス、本法法律案ハ鑛業被害ノ賠償ニ關スルモノデアリマス、鑛業ノ施業ニ因ル損害ノ發生防止ニ付キマシテハ、當局ニ於キマシテ鑛業法規ニ準據シ、絶エズ取締ヲ厲行致シテ來テ居ルノデアリマスルガ、其ノ損害ノ發生ハ技術上カラモ將又經濟上カラモ、之ヲ防止スルコトガ困難ナ部分ガアルノデゴザイマス、鑛業ニ基ク損害ハ土地陷落、煙害、鑛水ノ害等ガ主ナルモノデアリマシテ、其ノ損害ノ及ブ所ハ相當範圍ニ互ル場合ガアルノデゴザイマス、從來ニ於キマシテハ何分ニモ其ノ賠償ニ付テノ法制ガ備テ居リマセヌガ爲ニ、事實上相當賠償ガ行ハレテ居タニモ拘ラズ、尙被害者ノ救済ニ缺クル所ガ少クナカッタノデアリマシテ、此ノ點ニ關スル適當ナル賠償法制ノ制定ハ、永年ノ懸案デアッタノデゴザイマス、現在ニ於キマシテハ鑛業權者ハ事實上、年々相當ノ賠償ヲ爲スト云フ慣習ガ成立致シテ居ルノデアリマスルケレドモ、唯其ノ基準法規ノ存シテ居ラナイガ爲ニ、責任ノ存否、其ノ範圍等ニ付キマシテ、當事者間ニ爭ヲ生ズルコトガ少クナイノデア

リマス、今後益々鑛業ノ生産力ノ擴充ヲ圖ラネバナラナイ時ニ當リマシテ、此ノ點ニ關シマシテ此ノ際適當ナ法制ヲ制定致シマスルコトハ、誠ニ緊要ナルコトト存ズルノデアリマス、本法案ハ斯カル見地カラ、從來ノ事實ヲ基礎ト致シマシテ、此ノ賠償關係ヲ適當ニ規律シ、問題ノ秩序アル解決ヲ期スルノ趣旨ニ出ヅルモノデアリマシテ、諸般ノ事情ヲ十分ニ考慮致シマシタ結果、原則トシテ損害發生ノ時ノ鑛業權者ヲ賠償ノ義務者ト定メマシテ、尙關係鑛業權者ノ多數アル場合ノ責任ヲ明確ナラシムルト共ニ、石炭鑛業ノ土地掘鑿ニ因ル損害ニ付キマシテハ、其ノ損害ノ特別ナル實情ニ鑑ミマシテ、鑛業權者ヲシテ年々一定金額ノ供託ヲ爲サシメテ、豫メ之ニ備ヘシムルコトニ致シタノデアリマス、尙此ノ鑛害問題ノ圓滿ナル解決ヲ期スル爲ニ、之ヲ單ニ訴訟手續ノミニ委ネテ置イタノデハ十分デゴザイマセヌノデ、調停ノ制度ヲ設ケマシテ、當事者ノ協調ニ依ル合意的ノ解決ヲ圖ルコトト致シタノデアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ玆ニ本法法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○議長(伯耆松平賴壽君) 別ニ御質疑ガナケレバ本案ノ特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス

〔丸龜書記官朗讀〕

鑛業法中改正法律案特別委員

侯爵西郷吉之助君 子爵秋田 重季君

眞野 文二君 男爵東郷 安君

男爵伊藤 一郎君 古島 一雄君

内藤 久寛君 中村圓一郎君

武井覺太郎君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第二、北海

道拓殖銀行法中改正法律案、日程第三、金

資金特別會計法中改正法律案、政府提出、

衆議院送付、第一讀會、是等ノ二案ヲ一括

致シマシテ議題トスルコトニ御異議ハゴザ

イマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス、松村大藏政務次官

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議

院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十四年三月七日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

北海道拓殖銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

第八條ノ三 貸付金ノ年賦償還ニ付テハ

五箇年以内ニ於テ据置年限ヲ定ムルコ

トヲ得

年賦償還期限前天災事變其ノ他避クヘ
カラサル事故アリタルトキハ五箇年以
内ニ於テ更ニ据置年限ヲ定ムルコトヲ
得

第二十七條中第一號ヲ削リ第二號ヲ第一
號トシ以下順次一號宛繰上グ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

金資金特別會計法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議
院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十四年三月七日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

金資金特別會計法中改正法律案

金資金特別會計法中左ノ通改正ス

第三條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ規定ニ依リ本資金ヲ使用セント

スルトキハ其ノ金額ヲ一般會計又ハ他

ノ特別會計ノ歳入ニ繰入レ當該會計ノ

歳出トシテ拂出スベシ

第四條第一項ヲ左ノ如ク改ム

本資金ハ本會計ニ屬スル經費ヲ支辨ス

ル爲必要ナル金額ヲ除クノ外大藏大臣

ノ定ムル所ニ依リ之ヲ金、國債、産金

振興債券、日本産金振興株式會社株式

(額面總額二千五百萬圓ヲ限ル)又ハ勅

令ノ定ムルモノニ運用スルコトヲ得
第五條中「一般會計」ノ下ニ「又ハ特別會
計」ヲ加フ

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員松村光三君演壇ニ登ル〕

○政府委員(松村光三君) 只今議題トナリ

マシタ北海道拓殖銀行法中改正法律案及金

資金特別會計法中改正法律案ニ付キマシテ、

提案ノ理由ヲ御説明致シマス、先ヅ北海道

拓殖銀行法中改正法律案ニ付テ御説明致シ

マス、現行法ニ依リマスレバ北海道拓殖銀

行ノ營業普通銀行業務ニ屬スル資金ノ融通

總額ニハ制限ガアリマシテ、不動産銀行業

務ニ屬スル貸出總額ヲ超過シ得ナイコトニ

ナツテ居ルノデアリマス、然ルニ北海道及樺

太ノ開發進展ニ伴ヒ、短期資金ノ需要ハ著

シク増加ノ傾向ニアリマシテ、之ガ爲今ヤ

同行ニ於キマシテモ、其ノ短期貸出ハ右制

限ノ限度ニ達セムトシテ居リマス、今後同

行ノ短期資金ノ供給ニ支障ヲ來ス狀態ト相

成ツテ居リマスノデ、茲ニ此ノ制限ヲ撤廢シ

テ、地方金融ノ疏通ニ遺憾ナカラシムルヲ

適當ト考ヘルノデアリマス、尙現在同銀行

法ニハ年賦貸付ニ付テ据置年限竝ニ中間据

置年限ヲ定メ得ルノ規定ヲ缺イテ居ルノデア

リマスガ、日本勸業銀行法及農工銀行法ノ例

ニ準ジマシテ、之ニ關スル規定ヲ設クルヲ

適當ト考ヘマシテ、本案ヲ提出シタ次第デ
アリマス、次ニ金資金特別會計法中改正法
律案ニ付テ御説明致シマス、現下ノ時局ニ

顧ミマスルニ、産金ノ増加ヲ圖リ、國際收

支ノ改善ニ努ムルハ、喫緊ノ要務ナリト存

ジマスル處、之ガ爲ニハ金資金ノ運用範圍

ヲ擴張致シマシテ、從來ノ金、國債、産金

振興債券又ハ日本産金振興株式會社株式等

ニ運用ノ外、勅令ノ定ムルモノニモ運用シ

得ルコトトスルナドノ必要ガアリマスルノ

デ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリ

マス、以上兩件ニ付キマシテ、何卒速力ニ

協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望致シマス

○子爵戸澤正己君 只今議題トナリマシタ

北海道拓殖銀行法中改正法律案外一件ハ關

聯スル所ガゴザイマスルガ故ニ、昭和十四

年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發

行ニ關スル法律案外四件ノ特別委員ニ併託

セラレムコトノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 贊成

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議

ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第四、國境

取締法案、日程第五、軍用資源秘密保護法

案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是

等ノ二案ヲ一括シテ議題トナスコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、八田拓務大臣

國境取締法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十四年三月七日

衆議院議長 小山 松壽
貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

國境取締法案

國境取締法

第一條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ陸接國境(之ニ接續スル領海ノ境界ヲ含ム)ヨリスル人ノ出入ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第二條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ニ規定スル國境ニ接スル土地又ハ水面ニ付區域ヲ定メ其ノ區域ニ付人ノ出入ヲ制限スルコトヲ得

第三條 第一條ノ規定ニ依ル禁止又ハ制限ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

帝國ノ利益ヲ害スル目的ヲ以テ前項ノ罪ヲ犯シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス此ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ノ用ニ供シ

タル物ハ何人ノ所有タルヲ問ハズ之ヲ沒收スルコトヲ得

第四條 第二條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金若ハ科料ニ處ス

外國ニ潛入スル目的ヲ以テ前項ノ罪ヲ犯シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

軍用資源祕密保護法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十四年三月七日

衆議院議長 小山 松壽
貴族院議長 伯爵松平賴壽殿

軍用資源祕密保護法案

軍用資源祕密保護法

第一條 本法ハ國防目的達成ノ爲軍用ニ供スル(軍用ニ供スベキ場合ヲ含ム以下之ニ同ジ)人及物の資源ニ關シ外國ニ祕匿スルコトヲ要スル事項ノ漏洩ヲ防止スルヲ以テ目的トス

第二條 陸軍大臣又ハ海軍大臣(官廳ノ管理ニ屬スルモノニ係ルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣)ハ左ニ掲グルモノニ就キ命令ヲ以テ軍用資源祕密

ヲ指定ス但シ公示ヲ不適當トスルモノニ係ル指定ハ當該事項又ハ圖書物件ノ管理者又ハ之ニ準ズベキ者ニ對スル通知ヲ以テ之ヲ爲ス

一 全國(關東州及南洋群島ヲ含ム以下之ニ同ジ)又ハ一地方ニ於ケル軍用ニ供スル重要ナル物資ノ生産額、生産能力、生産能力判定資料ヲ設備ノ種類別數(之ヲ判定シ得ベキ比率ヲ含ム以下之ニ同ジ)及政府ノ決定シタル生産計畫並ニ此等ヲ表示スル圖書物件

二 兵器ヲ生産スル工場事業場又ハ之ニ轉用スルコトヲ得ル工場事業場ノ當該兵器ノ生産額、生産能力並ニ生産能力判定資料タル重要ナル設備ノ種類別數及其ノ設備ニ屬スル從業者ノ總數(之ヲ判定シ得ベキ比率ヲ含ム以下之ニ同ジ)又ハ種類別數並ニ此等ヲ表示スル圖書物件

三 兵器以外ノ軍用ニ供スル重要ナル物資ヲ生産スル工場事業場又ハ之ニ轉用スルコトヲ得ル工場事業場ノ當該物資ノ生産額、生産能力、生産能力判定資料タル重要ナル設備ノ種類別數及其ノ設備ニ屬スル從業者ノ總數又ハ種類別數並ニ政府ノ決定シタル生産計畫並ニ此等ヲ表示スル圖書物件

四 全國又ハ一地方ニ於ケル軍用ニ供スル重要ナル物資ノ貯藏額及貯藏設備ノ貯藏能力、此等ノ判定資料タル重要ナル貯藏設備ノ當該物資ノ貯藏額及貯藏能力、政府ノ決定シタル當該物資ノ貯藏計畫並ニ此等ヲ表示スル圖書物件

五 政府ガ貯藏セシメタル軍用ニ供スル重要ナル物資ノ貯藏額、政府ガ當該物資ヲ貯藏セシメタル貯藏設備ノ貯藏能力、政府ノ決定シタル當該物資ノ貯藏命令等ニ係ル貯藏計畫並ニ此等ヲ表示スル圖書物件

六 全國若ハ一地方又ハ重要ナル港灣ニ於ケル軍用ニ供スル重要ナル物資ノ輸入額及政府ノ決定シタル輸入計畫並ニ此等ヲ表示スル圖書物件

七 全國又ハ一地方ニ於ケル軍用ニ供スル特殊技能者其ノ他ノ重要ナル人の資源ノ總數又ハ種類別數及此等ヲ表示スル圖書物件

八 全國又ハ一地方ニ於ケル軍用ニ供スル航空機、自動車又ハ馬ノ總數又ハ種類別數及此等ヲ表示スル圖書物件
九 軍用ニ供スル重要ナル鐵道ノ輸送能力及輸送能力判定資料タル輸送統計、此等ヲ表示スル圖書物件並ニ軍用ニ供スル重要ナル鐵道ノ施設又ハ

車輛ニ關スル重要ナル記錄圖表及其ノ内容

十 軍用ニ供スル重要ナル飛行場又ハ其ノ附屬設備ニ關スル重要ナル記錄圖表及其ノ内容

十一 軍用ニ供スル船舶ニ於ケル特殊設備ニ關スル重要ナル記錄圖表及其ノ内容

十二 軍用ニ供スル重要ナル通信連絡系統及其ノ通信能力、此等ヲ表示スル圖書物件並ニ軍用ニ供スル重要ナル通信設備又ハ其ノ設備ノ通信能力若ハ連絡系統ニ關スル重要ナル記錄圖表及其ノ内容

十三 陸軍大臣若ハ海軍大臣ノ命令若ハ委囑ニ依ル重要ナル試驗研究又ハ軍事上秘匿ヲ要スル發明考案ニ關スル事項及圖書物件

十四 軍事上秘匿ヲ要スル氣象ニ關スル重要ナル事項及圖書物件

十五 特ニ秘匿ノ措置ヲ要スル第二號乃至第五號及第九號乃至第十二號ニ規定スル設備、第十三號ノ試驗研究ニ關スル設備並ニ此等ノ機構及性能並ニ此等ヲ表示スル圖書物件

第三條 軍用資源秘密トシテ秘匿スルノ要ナキニ至リタルモノニ付テハ其ノ指定ヲ解除ス

前條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル解除ノ場合ニ之ヲ準用ス

軍用資源秘密ニ關シ政府ノ公表シタルモノアルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ内容ト爲リタル部分ニ限リ其ノ指定ノ解除アリタルモノト看做ス

第四條 陸軍大臣又ハ海軍大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ軍用資源秘密ニ屬スル圖書物件ニ一定ノ標記ヲ附セシムルコトヲ得

第五條 陸軍大臣又ハ海軍大臣ハ第二條第十五號ニ該當スル軍用資源秘密ニ屬スル設備ヲ秘匿スル爲ニ必要アルトキハ其ノ管理者又ハ之ニ準ズベキ者ニ對シ當該設備ノ遮蔽其ノ他之ヲ秘匿スルニ必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

第六條 陸軍大臣又ハ海軍大臣(官廳ノ管理ニ屬スルモノニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣)ハ第二條第十五號ニ該當スル軍用資源秘密ニ屬スル設備ヲ秘匿スル爲ニ必要アルトキハ勅令ヲ以テ之ニ付立入又ハ測量、撮影、模寫、模造若ハ錄取又ハ其ノ複寫若ハ複製ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第七條 政府ハ軍用資源秘密ヲ秘匿スル爲ニ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ軍用資源秘密ヲ記載スル登記簿ノ閱覽又ハ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ制限スルコトヲ得

第八條 政府ハ第二條第二號又ハ第十五號ニ該當スル軍用資源秘密ヲ秘匿スル爲ニ必要アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ法令ニ基ク出願、申請、報告、届出等ヲ爲シ又ハ立入、検査、質問等ヲ受クル場合ニ付軍用資源秘密ノ開示又ハ交付ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第九條 陸軍大臣又ハ海軍大臣ハ第五條ノ規定ニ依ル命令ニ係ル事項ニ關シ當該設備ノ管理者又ハ之ニ準ズベキ者ニ對シ報告ヲ命ジ又ハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ立入り、検査ヲ爲シ若ハ關係者ニ對シ質問ヲ爲サシムルコトヲ得

第十條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第五條ノ規定ニ依ル命令ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス

前項ノ規定ニ依ル補償金額ニ付不服アル者ハ其ノ補償金額ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第十一條 外國若ハ外國ノ爲ニ行動スル者ニ漏泄シ又ハ公ニスル目的ヲ以テ軍用資源秘密ヲ探知シ又ハ收集シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第十二條 業務ニ因リ軍用資源秘密ヲ知得シ又ハ領有シタル者之ヲ外國若ハ外國ノ爲ニ行動スル者ニ漏泄シ又ハ公ニシタルトキハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

外國若ハ外國ノ爲ニ行動スル者ニ漏泄シ又ハ公ニスル目的ヲ以テ軍用資源秘密ヲ探知シ又ハ收集シタル者之ヲ外國若ハ外國ノ爲ニ行動スル者ニ漏泄シ又ハ公ニシタルトキ亦前項ニ同ジ

前二項ニ規定スル理由以外ノ理由ニ因リ軍用資源秘密ヲ知得シ又ハ領有シタル者之ヲ外國若ハ外國ノ爲ニ行動スル者ニ漏泄シ又ハ公ニシタルトキハ十年以下ノ懲役ニ處ス

第十三條 業務ニ因リ軍用資源秘密ヲ知得シ又ハ領有シタル者之ヲ外國人ニ漏泄シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ニ規定スル理由以外ノ理由ニ因リ軍用資源秘密ヲ知得シ又ハ領有シタル者之ヲ外國人ニ漏泄シタルトキハ一年以上ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 第二條第二號又ハ第十五號ニ該當スル軍用資源秘密ヲ知得シ又ハ領有シタル者之ヲ他人ニ漏泄シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 軍用資源秘密ヲ外國又ハ外國ノ爲ニ行動スル者ニ漏泄スル爲之ヲ探知シ、收集シ又ハ漏泄スルコトヲ目的トシテ團體ヲ組織シタル者又ハ其ノ團

タルトキハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

外國若ハ外國ノ爲ニ行動スル者ニ漏泄シ又ハ公ニスル目的ヲ以テ軍用資源秘密ヲ探知シ又ハ收集シタル者之ヲ外國若ハ外國ノ爲ニ行動スル者ニ漏泄シ又ハ公ニシタルトキハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

外國若ハ外國ノ爲ニ行動スル者ニ漏泄シ又ハ公ニスル目的ヲ以テ軍用資源秘密ヲ探知シ又ハ收集シタル者之ヲ外國若ハ外國ノ爲ニ行動スル者ニ漏泄シ又ハ公ニシタルトキハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

外國若ハ外國ノ爲ニ行動スル者ニ漏泄シ又ハ公ニスル目的ヲ以テ軍用資源秘密ヲ探知シ又ハ收集シタル者之ヲ外國若ハ外國ノ爲ニ行動スル者ニ漏泄シ又ハ公ニシタルトキハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

體ノ指導者タル任務ニ從事シタル者ハ

五年以下ノ懲役ニ處ス

情ヲ知リテ前項ノ團體ニ加入シタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス

第十六條 第六條ノ規定ニ依ル禁止又ハ

制限ニ違反シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 第五條ノ規定ニ依ル命令ニ違

反シタル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス第十八條 第七條ノ規定ニ依ル制限ニ違

反シタル者及第九條ノ規定ニ依ル立入

若ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ

虚偽ノ報告ヲ爲シタル者亦前項ニ同じ

第十九條 第十一條及第十二條ノ未遂罪

ハ之ヲ罰ス

第二十條 第十一條、第十五條又ハ前條

ノ罪ヲ犯シタル者未ダ官ニ發覺セザル

前自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕シ又

ハ免除ス

第二十一條 第五條ノ規定ニ依リ秘匿ノ

措置ヲ命ゼラレタル者ハ其ノ代理人、戸

主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ第十七條又ハ第十八條第二項ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其

ノ處罰ヲ免ルコトヲ得ス

第二十二條 第十七條及第十八條第二項

ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル

役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ

營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十三條 本法ノ罰則ハ何人ヲ問ハズ

本法施行地外ニ於テ罪ヲ犯シタル者ニ亦之ヲ適用ス

第二十四條 軍用資源秘密ハ勅令ノ定ム

ル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受ケタルトキ

ハ之ヲ他人ニ開示シ若ハ交付シ又ハ公ニスルコトヲ妨ゲズ

第二十五條 軍用資源秘密ニシテ官廳ノ

管理ニ屬スルモノニ係ル標記及秘匿ノ

措置ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第二十六條 朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ於テ

ハ本法ニ規定スル主務大臣ノ職權ハ勅

令ノ定ムル官廳之ヲ行フ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○國務大臣(八田嘉明君) 只今上程セラレ

テ、窃ニ帝國領域ニ出入スル者ガ勢カラズ存

スルノデアリマスルガ、斯クノ如キハ防諜

上竝ニ公安上憂慮スベキコトニ考ヘラレル

ノデアリマス、右ノ實情ニ鑑ミマシテ、此

ノ際該國境ノ取締ヲ嚴ニ致シ、防諜上竝ニ

公安上遺憾ナキヲ期スルノ要アルモノト考

ヘルノデアリマス、右申述ベマシタル理由

ニ基キマシテ、茲ニ本法律案ヲ提出致シタ

次第デアリマス、何卒御審議ノ上速カニ御

協賛アラムコトヲ希望致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 板垣陸軍大臣

(國務大臣板垣征四郎君演壇ニ登ル)

レマシタル軍用資源秘密保護法案ノ提出理由

ヲ簡單ニ説明申上ゲマス、今日ノ戰爭ガ所

謂國家總力戰デアリマスコトハ今更申上ゲ

ル迄モナイコトデアリマシテ、各國ハ軍備

ノ充實ト相俟ツテ、國防重要資源ノ生産力ヲ

擴充シ、國家總力ノ增強ヲ圖リマスルト共

ニ、是等ニ關スル秘密ニ付キマシテハ、極力防諜ノ措置ヲ講ジテ、單ニ軍機ノ保護ノ

機以外ノ國情ニ關スル秘密ヲ保護スベキ法

令ノ整備ハ、未ダ十分トハ申シ得ナイノデ

アリマシテ、此ノ點列國ニ比シテ尙遜色ガ

アリマスコトハ、所謂總力戰時代ノ要求ニ

即應シテ居ナイト考ヘラレルノデアリマシ

テ、此ノ際之ガ整備ノ必要ヲ痛感スルモノ

デアリマス、固ヨリ廣汎多岐ニ互リマス

國防力判定ノ資料ヲ外國ニ秘匿シマス爲ニ

ハ、行政上ノ措置竝ニ國民ノ理解アル協力

ニ俟タネバナリマセヌコトハ勿論デアリマ

スガ、特ニ外國諜報ノ活動ニ對シマシテ

ハ、到底是ノミデハ其ノ十全ヲ期待シ得ナ

イノデアリマスルカラ、更ニ法律ヲ以テ嚴

ニ其ノ取締ヲ致シマスコトガ、此ノ際特ニ

必要ナノデアリマス、斯様ナ次第デアリ

マスノデ、成ルベク速カニ國家總動員

上必要ナル諸般ノ秘密ヲ保護シマス法律

ヲ制定シテ、其ノ取締ノ完璧ヲ期シマス

ルコトヲ理想ト考ヘルノデアリマスガ、

モノデアリマス、次ニ本法案ニ於テ保護ノ對象トナリマス祕密ハ、軍用ニ供スル資源中極メテ重要ナル關係ノアルモノノミニ限定シテ居リマスノデ、其ノ全部ガ殆ド從來行政上ノ措置又ハ國民ノ協力ニ依ツテ、應急的ノ防諜對策ヲ講ジテ參ツタ範圍ノモノデアリマス、而シテ本法ハ「スパイ」行爲ノ取締ヲ主ナル目標ト致シマスカラ、外國若シクハ外國ノ爲ニ行動スル者ニ祕密ヲ漏泄シ、又ハ其ノ目的ヲ以テ之ヲ探知收集シ、或ハ之ヲ公ニスル者ヲ主トシテ處罰致シマス外、尙各種ノ規定ヲ設ケマシテ、祕密保護上必要ナル措置ヲ講ジ得ルヤウ致シテ居リマスガ、他面經濟上其ノ他特ニ必要ト認メマス場合ニハ、努メテ支障ノナイヤウニ色々ノ例外規定ヲ設ケテアリマスルカラ、經濟活動其ノ他ニ惡影響ヲ來スヤウナコトハ殆ドアルマイト考ヘテ居リマス、以上申上ゲマシタヤウナ必要性ト趣旨トニ依リマシテ、

○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、特別委員ノ氏名ヲ朗讀致サセマス〔佐藤書記官朗讀〕

國境取締法案外一件特別委員

公爵島津 忠重君 侯爵中御門經恭君

伯爵山田 英夫君 子爵立見 豐丸君

子爵秋月 種英君 子爵谷 儀一君

有吉 忠一君 山川 端夫君

柴田善三郎君 男爵井田 磐楠君

男爵柴山 昌生君 男爵高崎 弓彦君

藤沼 庄平君 石川 三郎君

光永 星郎君 山隈 康君

野村茂久馬君 青木才次郎君

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第六、地方鐵道法中改正法律案、日程第七、軌道法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、是等ノ兩案ハ之ヲ一括シテ議題トナスコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、鐵道大臣

地方鐵道法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

○子爵秋田重季君 贊成

昭和十四年三月七日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

地方鐵道法中改正法律案

地方鐵道法中左ノ通改正ス

第六條 削除

第六條ノ二乃至第六條ノ五ヲ削ル

第二十五條 主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ地方鐵道業者ニ他ノ陸上運送事業者ト連絡運輸、直通運輸、運賃協定其ノ他運輸ニ關スル協定ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ設備ノ共用又ハ變更、運輸ノ手續、運賃ノ割合、費用ノ負擔其ノ他ノ事項ニ付協議調ハサルトキハ申請ニ因リ主務大臣之ヲ裁定ス

第三十一條第一項中「ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額」ヲ削ル

同條第二項中「建設費ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額ニ達セサルトキハ其ノ換算シタル金額」ヲ「建設費ニ達セサルトキハ其ノ建設費」ニ改ム

第三十三條第一項中「時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シ」ヲ削ル

第三十五條 買收代價ハ國債證券ヲ以テ之ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ二十五圓未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ額面金額二十五圓トス

前項ニ依リ交付スル國債證券ノ交付價格ハ時價ヲ參酌シテ大藏大臣之ヲ定ム

第三十六條ノ二中「ヲ時價ニ依リテ國債券面金額ニ換算シタル金額」ヲ削ル

第三十六條ノ三第一項中「百分ノ七」ヲ「百分ノ五」ニ改ム

第三十六條ノ五ヲ削ル

第三十九條第一項第五號及第二項ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

昭和九年法律第二十二號ハ之ヲ廢止ス

軌道法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和十四年三月七日

衆議院議長 小山 松壽

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

軌道法中改正法律案

軌道法中左ノ通改正ス

第十九條中「第三十三條ノ二」ヲ「第三十三條」ニ改ム

第二十一條 軌道會社ノ株金ノ第一回拂込金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得但シ地方鐵道會社ニ非サル會社カ兼業トシテ軌道ヲ敷設スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條中「地方長官」ノ下ニ「又ハ鐵道局長」ヲ加フ

第二十六條中「第六條ノ二乃至第八條」ヲ「第七條、第八條」ニ、「第三十六條ノ四及第三十六條ノ五」ヲ「及第三十六條ノ四」ニ改ム

第二十九條第一項第五號及第二項ヲ削ル

附則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣前田米藏君演壇ニ登ル〕

○國務大臣〔前田米藏君〕 地方鐵道法中改正法律案竝ニ軌道法中改正法律案ノ提出理由ヲ御説明申上ゲマス、現在地方鐵道會社及軌道會社ニ對シマシテハ、株金全額拂込前ニ於テ、其ノ資本ヲ増加シ、又一定ノ期間利益配當ニ關シ、普通株式ニ劣ル株式、即チ所謂後配株式ヲ發行シ得ル規定ヲ設ケラレテ居ルノデアリマス、然ルニ今同商法ノ改正ニ依リマシテ一般ノ株式會社ニ付キマシテモ廣ク同様ノコトガ認メラルコトトナリマシタノデ、是等ニ關スル特別規定ヲ整理致ス必要ガアルノデゴザイマス、又地方鐵道、軌道ノ買収又ハ補償ノ際交付スベキ買収代價又ハ補償金ハ、一應五分利付國債證券ヲ以テ交付スルコトヲ本位ト致シ、更ニ之ヲ時價ニ依リマシテ、五分未滿ノ利付國債證券ニ換算シテ交付致シテ居ルノデ

官報號外

昭和十四年三月十日

貴族院議事速記第二十二號 朝鮮事業公債法中改正法律案外二件 第一讀會ノ續

アリマスガ、換算ノ基準トナルベキ五分利付國債證券ガ最近殆ド發行サレテ居リマセ

ス爲ニ、現在ニ於テハ、其ノ適正ナル時價ヲ定メ難キ狀態ニナツテ參リマシタ、買収又ハ補償ノ實施上支障ヲ生ズルニ至リマシタノデ、此ノ際現行ノ如キ換算方法ヲ改メタイト存ズルノデゴザイマス、尙其ノ他ノ規定ニ關シマシテモ、二三修正ヲ適當トスルモノモゴザイマスノデ、是等ニ付キマシテモ此ノ機會ニ於テ併セテ改正ヲ行ヒタイト存ジマス、以上申シマシタ理由ニ依リ、茲

ニ本案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマスガ、何卒十分御審議ノ上御協賛アラムコトヲ希望致シマス

○子爵戸澤正巳君 只今議題トナリマシタ地方鐵道法中改正法律案外一件ハ關聯スル所ガゴザイマスガ故ニ、朝鮮事業公債法中改正法律案外三件ノ特別委員ニ併託スルノ動議ヲ提出致シマス

○子爵秋田重季君 贊成

○議長〔伯爵松平賴壽君〕 戶澤子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長〔伯爵松平賴壽君〕 御異議ナシト認メマス

○議長〔伯爵松平賴壽君〕 日程第八、朝鮮事業公債法中改正法律案、日程第九、朝鮮

私設鐵道補助法中改正法律案、日程第十、朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東鐵道買

收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ三案ヲ一括シマシテ議題トナスコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長〔伯爵松平賴壽君〕 御異議ナシト認メマス、委員長堀田伯爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

朝鮮事業公債法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十四年三月七日
委員長 伯爵堀田 正恒

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十四年三月七日

委員長 伯爵堀田 正恒
貴族院議長松平賴壽殿

〔伯爵堀田正恒君演壇ニ登ル〕

○伯爵堀田正恒君 朝鮮事業公債法中改正法律案外二件ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、朝鮮事業公債法中改正法律案、是ハ朝鮮總督府特別會計ニ於キマシテ、昭和十四年度以降ノ繼續費ト致シ

マシテ計上シタル鐵道建設及改良費ノ追加額ハ一億八千七百六十萬餘圓デアリマシテ、其ノ中昭和十二年度、同十三年度及同十四年度ニ於キマシテ公債發行ヲ見合セテ、普通財源支辨ニ振替ヘタル額竝ニ振替ヘムトスル額ヲ合セマシテ千五百十萬圓、之ヲ差引キマシテ一億七千二百六十萬圓ダケヲ、

現行朝鮮事業公債法ニ依ル公債發行限度ヲ増加セムトスルモノデアリマス、即チ公債發行法定現在額八億九千三百五十六萬圓、之ニ昭和十四年度發行豫定額一億七千二百六十萬圓ヲ合セマシテ、計十億六千六百十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ、又ハ之ガ振替支辨ノ爲借入ヲナサムトスルモノデゴザイマス、

朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、是ハ朝鮮鐵道株式會社所屬金泉慶北安東間鐵

道ハ、第六十九回帝國議會ニ於キマシテ、協賛ヲ經タル朝鮮國有鐵道中央線ノ建設工事ノ進捗ニ伴ヒマシテ、之ニ連絡セムトスルモノデアリマス、右鐵道ハ國有鐵道ノ運輸系統ノ整備ノ必要上、又ハ中央線ノ建設工事用材料輸送ノ便宜上等ヨリ致シマシテ、昭和十四年度ニ於テ買收スルヲ適當ト認メ、之ガ買收代價トシテ交付スベキ公債ヲ發行セムトスルモノデアリマス、此ノ額ハ五分利公債ニ還元シマシテ八百二十三萬餘圓、三分五厘公債ニ致シマシテ八百五十萬圓デアリマス、朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案、朝鮮私設鐵道補助法ニ依リマスル現ニ補助金ヲ交付シツ、アル私設鐵道ハ、朝鮮鐵道、朝鮮京南鐵道、金剛山電氣鐵道、朝鮮京東鐵道及新興鐵道ノ五社デアリマス、右五社ノ中デ朝鮮京東鐵道ヲ除ク四社ハ、何レモ昭和十四年度中ニ補助期限ガ完了スルノデアリマス、然ルニ右地方鐵道ハ何レモ未ダ業績進展豫期ノ如ク舉リマセヌノデ、尙當分ノ内相當ノ補助ヲシナケレバ經營困難ノ狀態デアルノデアリマス、故ニ此ノ際補助期限ヲ五年尙延長シテ補助セムトスルモノデアリマス、而シテ金利ノ著シク低下セル經濟趨勢ニ照ラシ、又内地トノ權衡上補助率ヲ六分ヲ五分ニシ、益金留保率ヲ一分トシ、補助金最高額五百萬圓ノ制度ヲ改メマシテ、補助額ハ之ヲ毎年豫算ニ於テ定メムトスル

モノデアリマス、又附則ニ於キマシテ既得權ヲ尊重シテ、現在ノ補助期間満了ノ日ノ屬スル營業年度ノ末日迄ハ尙從前ノ例ニ依リ補助スルコトニシタノデアリマス、委員會ハ二月二十日、二十三日、二十七日、三月一日、七日ノ五回開會致シマシタ、質問ノ主タルモノヲ一二御紹介申上ゲマス、政府ハ曩ニ何等カノ機會ニ朝鮮ニ於テ補助シツ、アル私設鐵道ハ全部買收スルト度々言明シテ居ルガ、其ノ買收額ハ聞ク所ニ依レバ、約七八千萬圓、向フ五箇年間ニ買收スルトスレバ年額一千何百萬圓デ足リルノデアアル、一方此ノ際補助期間ヲ延長シテ年々而モ六七百萬圓宛ヲ補助セムトスル位ナラバ、經濟上、産業上又ハ國防上、此ノ際全部買收スルガ宜クハナイカト云フ御質問デゴザイマシタ、政府トシテモ鐵道及交通政策、將又産業上、國防上、一日モ早ク買收シタイ考デアルケレドモ、何分現下公債發行ヲ成ルベク少クシテ行カウト云フ公債政策、財政政策ヨリ致シマシテ、殘念ナガラ左様イカナインノデアリマス、併シナガラ財政當局ト十分打合セラシテ、出來ルダケ早く買收シテ國防ノ充實ト産業ノ發展ヲ期シタイトノ答辯デゴザイマシタ、朝鮮事業公債法中ニ鐵道買收ニ關スル規定ガアルニモ拘ラズ、ソレニ依ラナイデ別ニ單行法ヲ出シテ、之ガ公債ノ發行ヲセムトスル理由ハ

如何、是ハ不都合デハナイカ、若シ將來モ斯クノ如キコトヲスルト云フナラバ、朝鮮事業公債法ヲ改正シテ鐵道買收ニ關スル事項ヲ削除スル意思ハナイカ、サウシテ何レカ一本ノ法律トスルヲ適當トシナイカ、政府ハ、朝鮮事業公債法ハ公債發行ノ關係上、一般豫算デ決定スルガ故ニ、議會ノ休會明ケ前ニ、議會ニ提出スルコトガ出來ル、然ルニ私設鐵道買收ニ付テハ、ナカノ色々ナ事情ガアツテ、事實上ソレ迄ニ決定ガシ兼ねルノデ、故ニ已ムヲ得ズ遅レテ別ニ單行法トシテ提出シタノデアアル、實ハ昭和十一年度カノ議會ノ際ニ問題ガ起キテ、既ニ協議サレテ居ル事業公債法ヲ、一旦取下ゲテ改メテ公債法ヲ提出スルカ、或ハ別ニ單行法ヲ出スカト云フ議論ガアツタガ、公債法ハ既ニ審議モ進行シテ居タガ爲ニ、事業公債法ヲ其ノ儘殘シテ、別ニ單行法トシテ出シタ例ガアルノデ、ソレニ倣ツタノデアアル、併シナガラ形式上ドウモオカシイノデ、政府トシテハ十分研究考慮シタイト斯ウ云フ答辯デアリマシタ、其ノ他植民地全體ノ交通輸送力ノ統制、朝鮮ニ於ケル鐵道、港灣及電力ニ付テ、又公債支辨事業等ニ付キマシテ種種御質問ガアリマシテ、之ニ對シテ詳細ナル御説明ガアリマシタガ、總テ速記録ニ讓リタイト思ヒマス、質問終了ノ後討論ニ入りマシテ、一委員ヨリ植民地ニ於テハ輸送

力ノ不足ヲ告ゲテ居ル、朝鮮ハ殊ニサウデアアルガ、朝鮮ハ種々ナル意味カラシテ一日モ早ク輸送力ノ統制ヲ爲ス必要ガアルカラシテ、政府ニ於テハ宜シク考慮シテ一日モ早く統制ヲシテ貰ヒタイ、又今回補助期間ヲ五年延期シタガ、尙五年延期ト云フヤウナコトガナイヤウニ、即チ朝鮮ノ鐵道ハ國鐵代行デアアルカラシテ、是非早く買收シテ貰ヒタイ、殊ニ聞ク所デハ買收額ハ七八千萬圓ト云フ位ノ額デアアルカラシテ、是非一日モ早く買收スルヤウニ努力シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ御意見デゴザイマス、其ノ他ニハ御意見ノ發表ハゴザイマセヌデ、採決ニ入りマシテ全會一致可決スベキモノト決定ヲ致シマシタ

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ三案ノ採決ヲ致シマス、三案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 三案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス、三案全部、委員長ノ報告通り御異議ガゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 三案ノ第三讀會ヲ開キマス、三案全部、第二讀會ノ決議通り御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十一、昭和十二年法律第五十七號中改正法律案、日程第十二、大正十四年法律第五十一號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、是等ノ兩案ヲ一括シ

テ議題トスルコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、委員長三室戸子爵

昭和十二年法律第五十七號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十四年三月四日

委員長 子爵三室戸敬光
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

大正十四年法律第五十一號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十四年三月四日

委員長 子爵三室戸敬光
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔子爵三室戸敬光君演壇ニ登ル〕

○子爵三室戸敬光君 只今議題トナリマシタル兩案ノ委員會ノ狀況ヲ申上ゲマス、委員會ハ二回開キマシテ、先ヅ最初ニ政府ノ説明ヲ受ケマシタ、質問討論、例ノ通りデアリマシテ、最後ニ可決決定スベキモノト致シタノデアリマシタ、其ノ概要ヲ申上ゲマス、稍細カク申上ゲマスルト、昭和十

二年法律第五十七號ハ御承知デモゴザイマス通り鐵ノ輸入ニ對シマシテ稅ヲ免ズル法律デゴザイマス、其ノ法律ノ有効期間ハ本年ノ六月三十日ヲ以テ滿了致シマス、併シナガラ昨今ノ狀況カラ鐵ノ生産、輸入、需給ト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、今暫ク免稅ノ期間ヲ長ク致スト云フ必要ガアル、ソレガ爲ニ現在ノ法律デハ本年ノ六月三十日デゴザイマスモノヲ、昭和十六年ノ六月三十日、即チ滿二箇年延長致シタイト思フノガ改正案ノ骨子デアリマス、又大正十四年ノ法律第五十一號ト申シマスモノハ、關東州ヨリ我が國ニ移入サレテ居リマス所ノ幾多ノ品々ノ中デ、或物ハ全部免稅ニナッテ居リマス、又或物ハ稅額ガ低減サレテ居ルノデアリマスガ、昨今關東州ニ於キマシテ「ニトロナフタリン」ノ生産ガ相當能ク出來ルヤウニナリマシタ、此ノ品ハ我が國ニ於キマシテ非常ニ必要ヲ感ジテ居ルノデゴザイマス、故ニ此ノ際「ニトロナフタリン」ナル品目ヲ免稅致シマスル所ノ品々ノ中ニ加ヘタイト云フコトガ本案ノ骨子デゴザイマス、今申上ゲマシタ如ク鐵ノ必要ハ申ス迄モナイコトデゴザイマス、色々ナ質問ニ對シマシテ、政府ヨリハ秘密會ヲ要求サレマシテ、秘密會ノ席上ニ於テ、細カク説明ヲ受ケ質問ヲ致シマシタ、又「ニトロナフタリン」ニ付キマシテモ、相當時局柄必

要ナモノデゴザイマス爲ニ、是ハ速記ヲ中止致シマシテ説明ヲ何ツカヤウナ譯デゴザイマス、而シテ兩案トモ討論ニ入りマシテ、一委員ヨリハ此ノ法案ノ通り決行スルコトガ最も必要ナルコトデアル、斯ウ云フ意見ノ發表ガゴザイマシテ、各委員ヨリモ賛成ノ聲ヲ連發サレマシテ、採決ニ入り、全會一致ヲ以チマシテ、兩案ハ政府提案ノ通り可決スベキモノナリト決定ヲ見タヤウナ次第デゴザイマス、右御報告申上ゲマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ兩案ノ採決ヲ致シマス、兩案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 兩案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス、兩案全部、委員長ノ報告通り

デ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ兩案ノ第三讀

會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動

議ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 兩案ノ第三讀會

ヲ開キマス、兩案全部、第二讀會ノ決議通

リデ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十三、裁

判所構成法中改正法律案、政府提出、第一

讀會ノ續、委員長報告、委員長二荒伯爵

裁判所構成法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及

報告候也

昭和十四年三月七日

委員長 伯爵二荒 芳徳

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔伯爵二荒芳徳君演壇ニ登ル〕

○伯爵二荒芳徳君 裁判所構成法中改正法

律案特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告ヲ

致シマス、委員會ハ六日七日ノ兩日ニ互ツテ

開催致シマシク、先ヅ政府委員カラ本法律

案ノ提出ノ理由並ニ改正ノ各關係方面ノ事

項ニ互リマシテ聴取致シマシテ、其ノ結果

質問、討論ニ入リマシテ可決ヲ見タノデア

リマスガ、其經過ヲ申上ゲタイト存ジマス、

現行裁判所構成法ニ依リマスレバ、其ノ第

十四條二項ニ破産事件ニ付キマシテハ、區

裁判所ガ裁判權ヲ有シテ居ルノデアリマス、

然ルニ昨年商法ノ改正ニ伴ヒマシテ、株式

會社ノ整理又ハ特別清算ハ、必要ニ應ジマ

シテハ裁判所ガ職權ヲ以チマシテ整理手續

又ハ特別清算カラ破産手續ニ移ルコトガ出

來ルヤウニナツタノデアリマス、併シ此ノ事

柄ハ非常ナ重大ナ事項デゴザイマスカラ、

管轄ヲ區裁判所ヨリ地方裁判所ニ移シタイ

ト云フノデアリマシテ、其ノ結果當然昨年

ノ商法改正ノ趣旨ト相合致スルヤウニ、法

文ノ整理ヲ行ハナケレバナラヌコトニナツタ

ノデアリマス、即チソレガ此ノ改正法律案

ノ主眼デゴザイマシテ、他ノ法律ニ特別ノ

規定アルモノヲ除クノ外〕ト云フ字句ヲ挿

入致スダケノ改正案デゴザイマス、質疑ニ

入リマシタガ、別ニ質問ハゴザイマセヌデ

ゴザイマシタ、更ニ討論ニ入リマシテモ別

ニ發言スル者ガゴザイマセヌデ、採決ノ結

果全會一致ヲ以チマシテ可決ト相成リマシ

タノデゴザイマス、右御報告ヲ申上ゲマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナ

ケレバ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議

ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀

會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動

議ニ御異議ゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二讀會

ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問

題ニ供シマス、全部委員長ノ報告通りデ御

異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀

會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動

議ニ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會

ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通

リデ御異議ハゴザイマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認

メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第十四ヨリ

第二十五迄ノ請願、會議

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ

参照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣

フ〕

意見書案

街路照明統制ニ關スル件

東京市小石川區原町百二十六番地男

爵阪谷芳郎呈出

右ノ請願ハ街路照明ハ都市ノ保安並交通

上重要ナル設備ニシテ且都市美構成ノ一要素ナルニ拘ラス之カ施設ハ町會、商業團體其ノ他私人ノ任意ニ委ネラルル爲照度、形狀、樣式等區區ニシテ都市ノ美觀ヲ害スルノミナラス往往危險ナル構造ヲ有スルモノノ生スルハ甚遺憾ナルニ依リ道路法ヲ改正シ之ヲ道路ノ附屬物ト爲シ一定ノ基準ヲ設ケ以テ其ノ統制整備ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

內閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

北海道上磯郡木古内村ニ漁港築設ノ件

北海道上磯郡木古内村長田中謙治呈

出

右ノ請願ハ北海道渡島半島ノ中央ニ位スル上磯郡木古内村附近ハ魚族豐富ナル津輕海峡ニ面シ出漁船ノ集合多キニ拘ラス未之等多數ノ漁船ヲ碇繋スヘキ適當ノ漁港ナキ爲一朝荒天ニ遭遇セムカ漁船ハ避難ニ困難ヲ極メ漁獲物、漁具等ノ損傷多ク殊ニ鰻、柔魚ノ盛漁期ニ於テハ風浪最烈シク遭難船舶頻出ノ慘事ヲ見ルハ甚遺憾

ナルニ依リ速ニ恰當ノ地ナル木古内村ニ國費ヲ以テ漁港ヲ築設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

內閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

北海道上磯郡上磯町ニ船入洞築設ノ件

北海道上磯郡上磯町長茶谷幸一呈出

右ノ請願ハ北海道函館市ニ隣接セル上磯町ハ往時多數ノ漁業地ナリシニ逐年漁撈ノ不振ヲ招キ今ヤ悲境ニ沈淪セルハ魚道ノ沖合移動ニ基クト雖畢竟地勢上適當ノ繫留所ナク今尙磯舟の漁船ニヨリ出漁ノ已ムナキニ因ルヲ以テ速ニ同町ノ中央ヲ貫流セル大野河口ニ船入洞ヲ築設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

內閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

室蘭本線豐浦、定山溪鐵道定山溪ノ兩驛間鐵道敷設ノ件

北海道虻田郡豐浦村長齊藤益之外四名呈出

右ノ請願ハ室蘭本線豐浦驛ヨリ眞狩別村、留壽都村、喜茂別村ヲ經テ定山溪鐵道定山溪驛ニ至ル鐵道ヲ敷設スルハ道南地方ト札幌市ヲ連絡シ且沿線地方ニ景勝地ヲ控ヘ運輸交通並國防上等ニ貢獻スル所少カラサルニ依リ速ニ之ヲ實現セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

內閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

北海道網走郡網走町北六條ニ無集配三等郵便局設置ノ件

北海道網走郡網走町長大橋千次郎呈

出

右ノ請願ハ北海道網走郡網走町ノ北部方面ハ近時著シク戸口増加セルノミナラス官衙、學校、諸工場存シ通信機關ノ所要切ナルニ依リ速ニ同町北六條ニ無集配三等郵便局ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

ト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

內閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

北海道網走、羅臼港間ニ命令補助航路開設ノ件

北海道網走郡網走町長大橋千次郎呈

出

右ノ請願ハ北海道網走港ヨリ斜里村チプトマリ、ウトロ、岩尾別、硫黃山、ルシヤヲ經テ羅臼港ニ至ル命令補助航路ヲ開設スルハ知床半島沿岸ニ於ケル豐富ナル海產及林、鑛產資源ノ開發上貢獻スル所大ナルノミナラス運輸交通並通信上利便少カラサルニ依リ之ヲ實現ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

內閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

北千島、網走港間ニ命令補助航路開設ノ件

北海道網走郡網走町長大橋千次郎呈 出

右ノ請願ハ北千島、網走港間ノ航路ハ根室港ヨリノ航路ニ比シ距離、航海時間ヲ著シク短縮スルノミナラス濃霧ニヨル航海上ノ障害ヲ除去スル等幾多有利ノ條件ヲ具フルヲ以テ速ニ北千島、網走港間ノ命令補助航路ヲ開設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

北海道網走區裁判所廳舎並官舎改築ノ件

北海道網走郡網走町長大橋千次郎呈 出

右ノ請願ハ北海道網走郡網走町ニ在ル網走區裁判所ノ廳舎並官舎ハ既ニ四十年ヲ經過セル木造建築物ナル爲著シク朽腐シテ危險ナルノミナラス廳舎ハ通風、採光不完全ナル上狹隘ニシテ職員ノ保健並執務上遺憾ナルニ依リ速ニ之ヲ改築ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ

採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

豫定線松山附近、佐川間鐵道速成ノ件

高知市長川淵洽馬外一名呈出

右ノ請願ハ豫定線松山附近、佐川間鐵道ハ松山、高知ノ兩市ヲ連絡シ四國地方ニ於ケル運輸交通ノ重要幹線トシテ資スル所大ナルニ依リ速ニ之ヲ敷設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

幌內線幾春別、根室本線新得ノ兩驛間鐵道敷設ノ件

北海道空知郡三笠山村長村田要助呈 出

右ノ請願ハ幌內線幾春別、根室本線新得ノ兩驛間ニ鐵道ヲ敷設スルハ沿線地方ニ於ケル豊富ナル林、鑛資源ノ開發及未開地

ノ開拓上資スル所大ナルノミナラス小樽港ト十勝方面ヲ結フ捷路トシテ運輸交通並國防上亦須要ナルニ依リ之カ區間ヲ鐵道敷設法豫定線ニ編入シ速ニ起工セラレタシトノ趣旨ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

北海道市來知郵便局ニ集配事務開始ノ件

北海道空知郡三笠山村長村田要助呈 出

右ノ請願ハ北海道空知郡三笠山村字市來知村ハ近時産業ノ發展、戸口ノ増加ニ伴ヒ通信事務激増セルニ拘ラス市來知郵便局ハ無集配局ナル爲住民ノ不利不便大ナルノミナラス三笠山村役場ノ職務遂行上受クル支障甚カラサルニ依リ速ニ同郵便局ニ集配事務ヲ開始シ且三笠山村役場ヲ之カ管内ニ包含セシメタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

意見書案

釜石線鐵道速成ノ件

岩手縣釜石市大字釜石第三地割八十番地平民公吏小野寺有一外六百七十三名呈出

右ノ請願ハ未成線釜石線鐵道ノ完成ハ沿線地方ニ於ケル豊富ナル林、鑛産等ノ資源開發上貢獻スル所大ナルノミナラス之カ開通ノ遲速ハ三陸沿岸ノ要衝タル釜石港ノ發展ニ至大ノ影響ヲ與フルニ依リ速ニ之カ實現ヲ圖ラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

昭和十四年 月 日

貴族院議長 伯爵松平 賴壽

内閣總理大臣男爵平沼騏一郎殿

○議長(伯爵松平賴壽君) 是等ノ請願ハ請願委員長ノ報告通り、採擇スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 次會ノ議事日程
ハ決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、
本日ハ是ニテ散會致シマス
午前十時五十八分散會

貴族院議事速記録第十九號正誤

頁	段	行	誤	正
一九七	二	三	驛間、鐵道	驛間鐵道
〃	〃	一〇	昭和十二年、 法律第五十七	昭和十二年、 法律第五十七
〃	〃	一二	大正十四年、 法律第五十七	大正十四年、 法律第五十七
二〇七	一	二四	唯一片	唯一片
二二〇	四	一四	長日	長目
二二一	三	一八	使命	斯業
二二九	三	三八	次	主義
〃	〃	三九	統制	稅制
貴族院議事速記録第十九號二〇三頁 四段二四及 二五行ハ誤ニ付削除ス				
貴族院議事速記録第十九號二三〇頁 三段七及八 行目ヲ左ノ如ク訂正ス				
○子爵秋田重季君 贊成				
○議長(伯爵松平賴壽君) 戸澤子爵ノ動議ニ 御異議ハゴザイマセヌカ				

官報號外

昭和十四年三月十日

貴族院議事速記錄第二十號

二五二